

# 院内フォーミュラリ（グリニド：速効型インスリン分泌促進薬【2型糖尿病用】）

第一選択薬	第二選択薬
ミチグリニドCa・OD錠10mg	レパグリニド錠0.5mg

成分名 (先発品名称)	ミチグリニド (グルファスト)	レパグリニド (シュアポスト)
用法・用量	1日3回 食直前 通常用量：1回10mg	1日3回 食直前 開始用量：1回0.25mg 維持用量：1回0.25～0.5mg 最大用量：1回1mg
特性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボグリボースとの配合剤の発売がある</li> <li>・OD錠の発売がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高用量で使用するとSU薬と同等のHbA1c低下効果を示す</li> </ul>
代謝・排泄	<ul style="list-style-type: none"> <li>・腎排泄であるが、腎機能障害者にも慎重投与で使用可能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・肝代謝であり、腎機能障害者にも慎重投与で使用可能</li> </ul>

※ 当院ではグリニド系が処方されている糖尿病患者のほとんどが内分泌・糖尿病内科のフォローを受けている。

非専門医が参照するフォーミュラリとして、低血糖リスクの低いミチグリニドを第一選択薬とした。

参考：血糖降下作用の強さ レパグリニド錠0.5mg > ミチグリニドCa・OD錠10mg